



## ザンビアの経済概況・月報(2015年11月)

主なマクロ経済指標	2014年	2015年
1. 人口 (百万人)	15.0 (estj)	15.5 (proj)
2. 人口増加率 (%)	2.88 (est)	3.3 (est)
3. 失業率 (%)	7.8 (2012)	7.8 (2012)
4. 平均寿命 (年齢)	49.2(男性)/53.4(女性)	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	26,758 (est)	28,567 (proj)
7. GDP成長率 (%)	6.0	4.6 (proj)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1 (2012)	1,358(2012)*1
9. インフレ率 (%)	7.9	19.5 (Nov)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	141.51	172.86 (Nov)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	145.19	-214.96 (Oct)*2
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-64.65*4	1.42 (Oct)*3
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	9,696.20	515.07 (Oct)*2
14. 対日輸出 (百万米ドル)	36.84*4	5.31 (Oct)*3
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	9,551.01	730.03 (Oct)*2
16. 対日輸入 (百万米ドル)	101.49*4	3.89 (Oct)*3
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,250 (2013年)	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	181 (2013年)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,811 (2013年)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	3,100 (2014年12月末)	3,600 (2015年9月末)
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	4,700 (2014年12月末)	6,300 (2015年9月末)
22. 為替レート (対米ドル)	6.15ZMW*5	12.18ZMW (Nov)*4
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	11.56	15.50 (Nov)

※( )内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

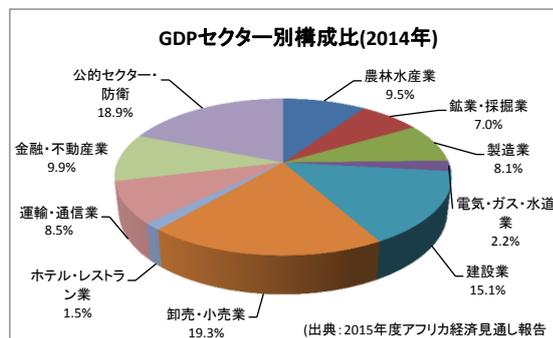
*1	購買力平価(PPP)による一人当たりGNI
*2	1USD=12.02ZMW (2015年10月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*3	1USD=123円 (2015年10月の日銀基準外為替相場)を用いて換算
*2	<2014年2月>
*3	主要輸出品目: 銅/砂糖/硫酸/メイズ(種子除く)/金 主要貿易相手国(輸出): スイス 47.7%, 中国 9.4%, シンガポール 8.0%, 南アフリカ 7.7%, コンゴ(民) 7.0%, その他 20.2% 主要輸入品目: 軽油/機械類/内燃機関用燃料/石油 主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 30.4%, モーリシャス 14.4%, コンゴ(民) 13.7%, 中国 6.1%, クウェート 5.3%, その他 30.2%
*4	1USD=106円 (2014年(平均値)の日銀基準外為替相場)を用いて換算
*5	2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK (旧通貨) = 1 ZMW (新通貨)へと通貨単位が変更となった。
<出典>	
1.-2., 6.-7.: Country Report 2015 (EIU), The World Factbook (CIA), Ministry of Finance in Zambia / 3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO&Ministry of Labour and Social Security) / 4., Census 2010 / 8., UNDP Human Development Report / 9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO), Ministry of Finance in Zambia / 12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 / 17.: The World Factbook (CIA) / 18.-19.: UNCTAD / 20., 21.: Ministry of Finance in Zambia / 22.-23.: Bank of Zambia	

### <ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ (ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax): 35%。  
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT): 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):  
坑内掘りに6%, 露天掘りに9%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):  
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax): 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要なとされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



### 主要な経済ニュース(11月)

#### 1. “ザンビア、資金調達が改善” (Daily Mail, 2日)

世銀による2016年ビジネス環境ランキングが発表され、ザンビアは、「資金調達」の項目において、189ヶ国中19位となり、2015年の24位から順位を5つ上げた。同様に、「税の支払い」の項目においては、189ヶ国中46位となり、2015年の81位から改善された。(当館注: ザンビアの総合ランキングについては97位となり、昨年の91位から順位を6つ下げる結果となっている。)

#### 2. “カイゼンの精神を” (Times, 4日)

カサンダ内閣官房副長官は、国立カイゼン機構(KIZ)及びJICA主催の2015年カイゼン大会(於: ルサカ)にて、カイゼン精神から多くの恩恵を享受出来るため、官民両セクターの組織に対し、カイゼンの実施を検討すべきであると発言した。

#### 3. “ザンビア中銀、政策金利を引き上げ” (Times, 4日)

ザンビア中銀(BoZ)は、12.5%から15.5%への政策金利引き上げを実施。カリヤリヤ・ザンビア中銀総裁は、3日開催の記者会見にて、金融政策委員会がインフレ率を考慮した点を指摘したうえで、インフレ率を一桁台に維持することが重要である旨発言した。

#### 4. “燃料パイプラインの議論をすべく投資家が来ザ” (Times, 16日)

南ア企業であるトランスネット社からの投資チームが、ンドラールサカ間の多目的燃料パイプラインを含めた3つの起工プロジェクトにかかる議論をザンビア政府と開始すべく、ザンビアに到着する。トランスネット社は、パイプラインに関する技術や運搬に加え、鉄道輸送、港湾管理の領域における経験を有する国営企業である。

#### 5. “ザンビアシュガー、10万トン以上を輸出” (Daily Mail, 23日)

ザンビアシュガーは、2015年に同社が様々な課題を経験したにもかかわらず、南部アフリカ地域に対して約15万9000トンの砂糖を輸出した。バンダ・ザンビアシュガー広報部長は、同社がコストを軽減するため、新たなスクロース関連製品の地域マーケット開拓に焦点をあてる旨発言した。

#### 6. “ヤレロ社、養殖に950万米ドルを投資” (Daily Mail, 26日)

ヤレロ社は、シアボンガにおける養殖の生産を増大させるべく、950万米ドルを投資する。マッコイ・ヤレロ社CEOは、拡大プログラムにより、同社の向こう5年間の年間生産量が7000トンから3万トンに増加することが可能となる旨発言した。

#### 7. “11月のインフレ率、19.5%を記録” (Times, 27日)

ザンビアの11月のインフレ率は19.5%を記録。なお、10月のインフレ率は14.3%。小売価格については、11月のブラックファスト・ミーリーミール(25キロ/袋)の価格は、前月比7.71クワチャ増の79.63クワチャに値上がりした。同様に、11月のローラー・ミーリーミール(25キロ/袋)の価格は、前月比6.59クワチャ増の63.06クワチャに上昇した。

#### 8. “世銀、ザンビアの経済成長率が4%を下回ると予測” (Post, 27日)

ルーセンバーク世銀ザンビア代表は、2015年に直面したザンビア経済の課題を背景として、2015年のザンビアの経済成長率が4%を下回ると予測される旨発言した。同代表は、中国経済の減速及び今年後半に高まった電力危機が経済の逆風に含まれる旨説明した。

#### 9. “KCM、ンチャング鉱山を閉鎖” (Post, 27日)

コンコラコッパーマインズ(KCM)社は、本日、契約従業員1675名を解雇とすること及び向こう3か月の間にさらに契約従業員825名を解雇する予定である旨決定した。これらの決定は、ンチャング地下銅山(於: コッパーベルト州チンゴラ)の即時停止の決定を受けたものである。